

宮崎市国際交流協会 編集・発行

〒880-8505 宮崎市橘通西1丁目1番1号

TEL 0985-21-1719 FAX 0985-21-1733 HP https://www.miyazaki-mcia.jp/







G7多文化交流 フェスタを 開催しました! 宮崎市内で4月に開催されたG7宮崎農業大臣会合に合わせ、当協会では「G7多文化交流フェスタ」を開催しました。

メインエリアでは、市内在住のG7参加国出身の方々が出身国の食をテーマに ブースを出展し、来場者の皆さんと交流を深めました。そしてキッズスペースで は、交換留学生による「ワールドトラベル」(清武町国際交流協会)、佐土原の 「神代独楽」体験(佐土原町国際交流協会)があり、午後からは、G7参加国、 フィリピン、韓国出身の方による、多言語での絵本の読み聞かせを行いました。 子どもから大人まで、会場に楽しそうな笑顔があふれる一日でした。



























ネパールカレー作り 交流会





みやざき中央農産物ファン拡大事業より野菜・果物を 提供していただき、MSG日本語科の生徒さんたちと一緒 に、友達作りを目的とした料理交流会を開催しました。最 初は緊張した面持ちでしたが、一緒に料理やいろんな話 をしている内にみんなが打ち解け、笑いながら楽しいひと 時を過ごしました。

ちなみに、今回のネパール料理には、カレーにも、サラダにも、フェネグリーブというスパイスを入れました。フライパンに油を敷き、フェネグリーブをパラパラと入れ、香りが出るまで炒めます。メープルシロップの様な甘い香りですが、味はしっかりと苦みがあり、日本にはない味でした!ネパールではよく使う香辛料とのことで、身体に良く、水で戻したものをそのまま食することもできるそうです。











6月、宮崎青年会議所主催の 国際フェスタ「みやざきインターナショナルフェスタ~ワールドテラス 2023~」が宮崎公立大学にて開催されました。当協会の他、市内 のJET青年による交流ブースや、フランス出身の方によるフランス 食品の販売ブース等、様々なブースが出展し、会場は多くの来場者で賑わっておりました。当協会では、中国、韓国、アメリカ、そして昨年に引き続き、今年もバングラデシュの紹介をしました。











韓国・報恩郡との交流事業について 宮崎市の市広報で紹介されます!

当協会では毎年、市内の中学生と韓国・報恩郡の中学生の交流事業を行っていますが、両都市が姉妹都市盟約を結んで、今年で30周年を迎えます。それを記念して市広報の特集ページにて報恩郡が紹介されますので、ぜひご覧ください!

また、8月3日(木)・4日(金)、今年も報恩郡の中学生とオンライン交流が行われます。今年は、宮崎市立本郷中学校の5名の生徒が交流に参加予定です。交流の様子は、次回発行のニュースレターにてお伝えしますので、お楽しみに~。



宮崎情報ビジネス医療専門学校 日本語科に行きました!

5月上旬、宮崎市秘書課の方と一緒に、宮崎市内 唯一の日本語教育機関である、宮崎情報ビジネス 医療専門学校日本語科に行きました。午前と午後の ホームルームの時間に、宮崎市の防災メールの案内 や、アンケート調査への協力依頼と併せて、当協会で 開催している「みんなで日本語会」の案内をしまし た。当協会の日本語会には、多くの日本語ボランティ アさんにご登録いただき、毎週多くの方に活動いただ いております。この案内の後に、日本語科の生徒さん も日本語会に来てくれました。

今後のお知らせ

※予告なく変更・中止になる場合があります。予めご了承ください。

日 程	講座名・会場	備考
①毎週金曜日 18:30~ ②毎週土曜日 10:00~ ③基本第2・第4日曜日 9:30~	①みんなで日本語会 宮崎市民プラザ3階 ②みんなで日本語会 宮崎市民プラザ3階 ③佐土原みんなで日本語会 佐土原総合文化センター	参加者・ボランティア 随時募集中
7月29日(土)	まつりえれこっちゃみやざき ランチ交流会&市民総踊り	-
8月3日(木)・8月4日(金)	韓国報恩郡中学生オンライン交流事業 宮崎市立本郷中学校	-
9月	こそだてCafé	予定
9/20~10/25 (水)	中国語教室(中級) 全6回	予定
9月30日(土)	世界の友達を作る体験活動 青島青少年自然の家	予定
10月21日(土)	日本語を聞いて話して宮崎を知るバスの旅 飫肥周辺	予定

● 事務局長就任のごあいさつ ●

宮崎市国際交流協会 事務局長 岡本哲哉

会員のみなさま、こんにちは。この5月より宮崎市国際交流協会の新しい事務局長に就任いたしました岡本哲哉と申します。よろしくお願い申し上げます。前職は教員をしておりました。3年間の文部科学省在外教育施設派遣の任期を終え、この3月末にアメリカのシカゴ補習授業校の校長を最後に41年間の教職生活にピリオドを打って帰国したところです。今回、縁あって本協会の事務局長になったわけですが、思い返せば、私がまだ青年教師であった30数年前に派遣されたシンガポール日本人学校での現地校との国際交流活動や国際理解教育がその後の教員生活に活かされ、今日につながったように思われます。



国際交流というと、外国人との交流や異文化理解が頭に浮かびます。異なる国や地域の人々と、文化、知識、経験を共有することを目的とした活動です。このような活動は、国際的な視野を広げること、他の文化に対する理解を深めること、友好関係を築くことなどを目指して行われ、本協会もこの一端を担っています。しかし、近年、国際交流と共に、多文化共生という言葉が聞かれるようになりました。多文化共生の定義は、「国籍や民族などが異なる人々が、互いの文化の違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」とあります。つまり、多文化共生は、「外国人住民と共に住みやすい地域づくり」を進めようという事です。私たちの宮崎市国際交流協会は、これまでの国際交流活動をさらに発展させ、多文化共生の視点を持って取り組んで参ります。会員の皆さまの引き続きの応援をよるしくお願いいたします。